

各部局等の長
オープンファシリティセンター長 殿

総合安全管理部門長
岡田 哲男

高圧ガス貯蔵ゾーン維持管理ご協力のお願いについて（依頼）

平素より高圧ガスの安全管理について、ご協力いただきありがとうございます。

標記の件について、大学として関連する諸法令を遵守する必要があるため、「すずかけ台地区高圧ガス貯蔵ゾーン維持管理ご協力のお願いについて（依頼）令和3年3月18日付」に基づき、総合安全管理部門と各部局が連携し、すずかけ台地区の高圧ガス貯蔵ゾーンの維持管理を行っているところです。

大岡山地区においても、すずかけ台地区と同様、下記対応方法に基づき、必要に応じてゾーン分けに基づく IASO G2 の区域を見直す等、継続的な貯蔵量管理を行いたいと考えております。つきましては、下記に示す対応についてご協力の程よろしくお願い致します。

記

① ゾーンの維持管理のため、引き続きボンベ数・容量の定期的な確認等ご協力をお願いします。

・部局等においては、特にゾーン分けが複雑な建物について、安全パトロールや巡視を通じて、ガスボンベの設置状況を日常적으로ご確認頂けますようお願いいたします。

・IASO G2 の登録データは、最新版のデータとなるよう、随時更新をお願いします。

② 教員の着任・転入・引っ越し（現在のゾーン以外への移動）及び新たに装置を導入する際等にガスボンベの設置等を伴う場合は、各部局にてご検討いただき、現行のゾーン分けに何らかの影響が予想される（ゾーン内の貯蔵量が 300m³ 以上となる可能性を含む）場合は、安全担当事務より総務部安全企画課安全管理グループ宛に別紙のご提出をお願いします。

総合安全管理部門でゾーン分けの見直しが必要となるか確認の上、結果をご連絡します。

※貯蔵量が 300m³ 以上となる際は、可燃性ガス及び酸素ボンベをシリンダーキャビネットに収納し、行政へ貯蔵所として届け出る必要があります。

【対象】各部局で所管している大岡山地区のうちゾーニングが完了した建物及びすずかけ台地区のスペース（学長裁量スペース及び J3 レンタルラボラトリー除く）

【連絡時期】ゾーン分けに影響するガスボンベ設置等の可能性が判明した時点で随時。検討期間が必要になるため、可能な限り早期のご連絡をお願いします。

【連絡時必要項目】本依頼別紙のとおり

【留意事項】同一建物内の引っ越し等で、該当ゾーンの貯蔵量が 270m³ 程度以下であり、部局等内で明確に「ゾーン分けの見直しは不要」と判断できる場合は、本件連絡の必要はありません。判断に迷う場合は、別紙のご提出をお願い致します。

以上

【本件発信元・提出先】

総務部安全企画課安全管理グループ

笹川・坂本・井上(3403・3409・7272) e-mail: sog.anz.kan@jim.titech.ac.jp

【本件通知の問合せ先】

総合安全管理部門 環境・安全推進室

本通知全般（IASO G2 以外） 鈴木・加藤（3326・7750） e-mail: envpro@envpro.titech.ac.jp

IASO G2 関連 担当委託業者（株式会社 PFU）中江（070-2179-7628）

e-mail: centerhpl@envpro.titech.ac.jp

高圧ガス貯蔵希望予定について

提出年月日 R 年 月 日

提出部署

提出部署担当者連絡先

氏名

内線

①所属部局 (学院・研究所・コース名等)	○○学院 ○○○○系 ○○○コース			
②教員名 (研究室名)	○○ ○○ (○○研究室)			
③入居予定時期	○○○○年 ○○月 ○○日			
④入居予定の建物名	○○棟			
⑤設置予定の高圧ガスの a. 設置予定の部屋番号 (階数) b. 種類 c. 貯蔵量 (m ³) 又は, ボンベの大きさと本数	a. 部屋番号	b. 種類	c. 貯蔵量	室 貯蔵量合計
	階 *号室	窒素	◎ (m ³) 1 本	○○ (m ³)
	階 *号室	アルゴン	◎ (m ³) 1 本	
	階 *号室	CO2	◎ (m ³) 1 本	○○ (m ³)
⑥その他 (質問等がありましたら こちらに記入してください)				

※ 提出は、安全担当事務を通じて提出してください。提出部署は、安全担当事務名及び連絡先を記入してください。

※ ⑤高圧ガスボンベ等設置予定の部屋が複数ある場合 (例：学生実験室と研究実験室に設置予定) は、全て記入してください。

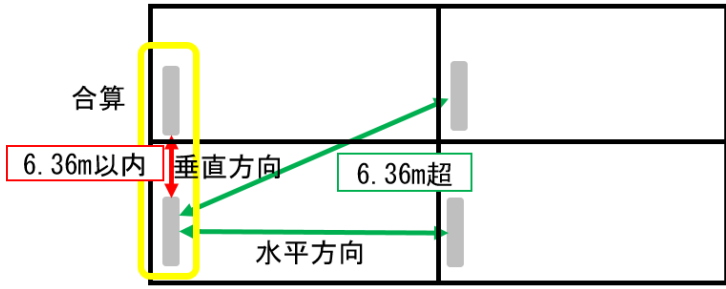
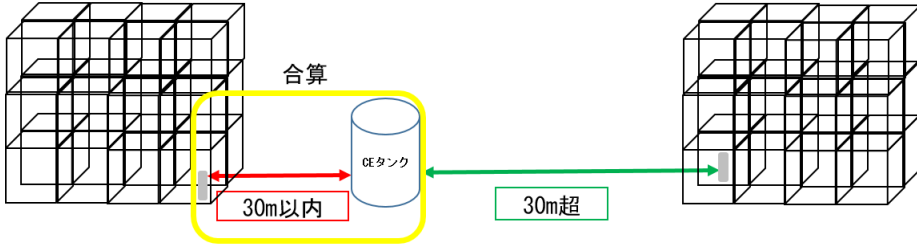
同様に、高圧ガスの種類が複数ある場合 (例：アルゴンと CO2) は、部屋ごとのに「a. 設置予定の部屋番号 (階数)」「b. 種類」「c. 貯蔵量又はボンベの大きさと本数」を記入してください。

「b. 種類」は、ボンベ刻印文字及びボンベ色より調べて記入して下さい。「c. 貯蔵量又はボンベの大きさと本数」は、必要最低限の予備ボンベも含めできるだけ正確に記入してください。

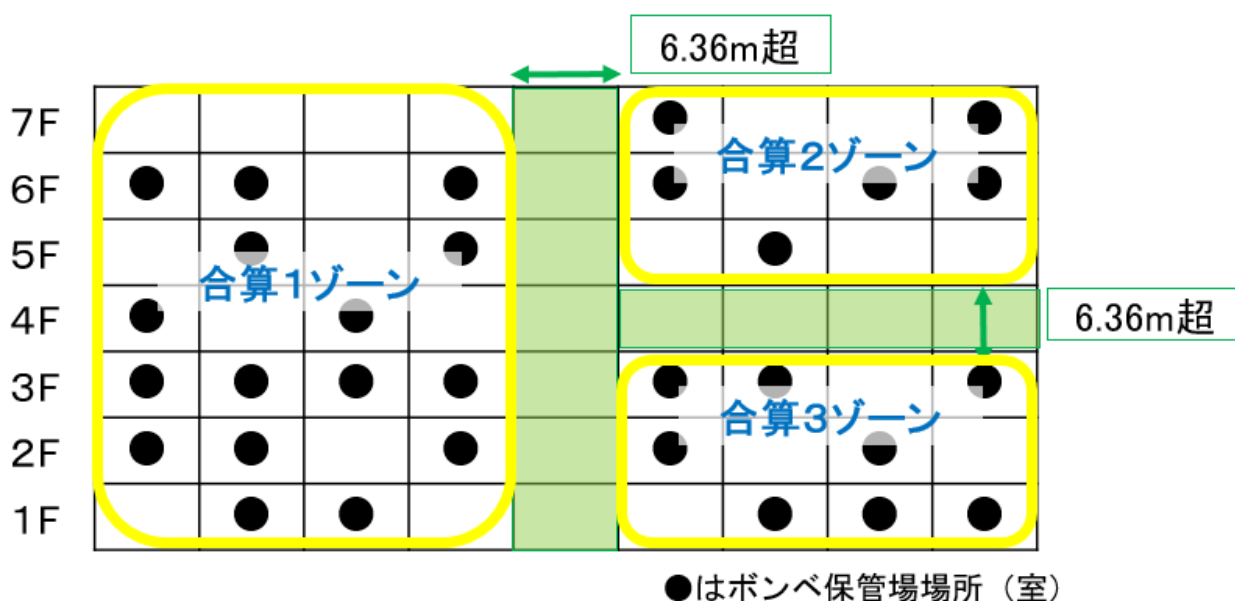
※ 提出先 総務部安全企画課安全管理グループ

e-mail : sog.anz.kan@jim.titech.ac.jp

1. 貯蔵量の合算不要（緑色の矢印間）の例

ポンベ間	・ 容器置場（室内のボンベ設置区画）の面積が、8m²以下 ・ 2つの容器置き場間に障壁（直径 9mm 以上の鉄筋を縦横 40 cm以下の間隔に配筋した厚さ 12 cm以上の鉄筋コンクリート製の条件を満たすもの）あり、6.36mを超える（水平方向、垂直方向） ・ 配管（1MPa 以上の圧力の配管）により接続されていない 
ポンベと CE	・ CE タンクから 30m を超える 

2. 1つの建物内の合算（ゾーン区分）イメージ図



保管の無い縦方向のゾーンやフロア（緑色で表示）があると、1つの建物内を複数のゾーンに分けることが可能となる（1フロア当たりの高さは、4mが一般的、7m3 ボンベの高さは約 1.5m のため、ボンベから天井までの距離(4-1.5=2.5) m）。